

## Broaden your horizons 91 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

「から騒ぎ」でも「むな騒ぎ」でもありません。これはもう、「おお騒ぎ」です。皆さんは、「一般用医薬品（OTC薬）のネット販売」をどのように受け止めていらっしゃるでしょうか？ サプリメントに関する興味深い報告を見つけました。私が驚いたのは、サプリメントの購入金額です。60代女性の約5割が月3万円も購入しているそうです。その主な購入手段が「ネット通信販売」です。約5割がネット通信販売の購入で、薬局・ドラッグストアの購入は23.2%にすぎません。何だか、寂しいですね。サプリメントのネット通販なら許せますか？ それでは「OTC薬のネット販売」、その延長線上にある「処方せん薬のネット販売」はどうでしょうか？

政府は、OTC薬のネット販売について、医師の処方せんが必要な医療用医薬品からOTC薬への切り替え後3年が経過すれば、原則解禁する方向で調整に入りました。現存するOTC薬（約1万1,400品目）のうち、副作用リスクが高い「劇薬」5品目以外はネットで購入することが可能になります。5品目以外って……。

「OTC薬のネット販売を原則解禁する」という方針は、政府が6月にまとめた「日本再興戦略」に明記されています。そうです、安倍政権の成長戦略に位置付けられているのです。楽天の三木谷浩史社長と安倍晋三首相は「仲が良い」という話を私も耳にしたことがあります。OTC薬の全面解禁を求める意見書を提示した政府の規制改革会議は、「消費者の利便性を高めると同時に、価格競争を促し、ネット商取引を促す」という大義名分を振りかざしています。私が思うに、人間は慣れていきますので、多分、こういう論議が積み重なると、「処方せん薬もネット販売でよいのでは？」ということにも……。少し怖いです。

消費者の利便性を高めることは重要なことです。しかし、そもそも論を忘れて、利便性を一人歩きさせるのはいかがなものでしょうか。そうです、取り扱うモノは「リスク」を並び替えた「クスリ」です。文字通り、取り扱い方を間違えると“危険なモノ”に早変わりするのです。それだけはどうか忘れないでください、ただそう願うばかりです。

薬剤師の使命は？ クスリの適正使用を促すことです。適正使用とは？ 正しい人が、正しい時に、正しい量を服用して、服用後の効果と副作用を薬剤師が拾い上げ、医療にフィードバックすることです。2014年中にも、新ルールでOTC薬のネット販売がスタートします。薬剤師の使命を果たしていきましょう。

Medisere（メディセレ）代表取締役社長 児島 恵美子